

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく
金融商品に係る業務運営の取組状況（2019年度実績）の公表について

株式会社福岡中央銀行（以下「当行」）は、「これまでも、そしてこれからも、地域になくってはならない福岡中央銀行となるために」の基本方針のもと、金融商品に係る業務運営においては、お客さまの安定的な資産形成に向けたサービスの提供に取り組んでおります。

当行では、2017年7月31日に公表しました「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」（以下「本方針」）に基づき業務を行っており、取組状況をご確認いただくため各種指標を以下の通り公表いたします。

また、本方針に基づく取組み状況を定期的に公表するほか、より良い業務運営を実現するために見直しを行ってまいります。

記

1. 公表日

2020年7月22日（水）

2. 取組方針および成果指標（KPI）

- （1）お客さま本位の取組みの実践
- （2）お客さまにふさわしいサービスの提供
- （3）従業員に対する適切な動機づけの枠組み等
- （4）当行における比較可能な共通 KPI

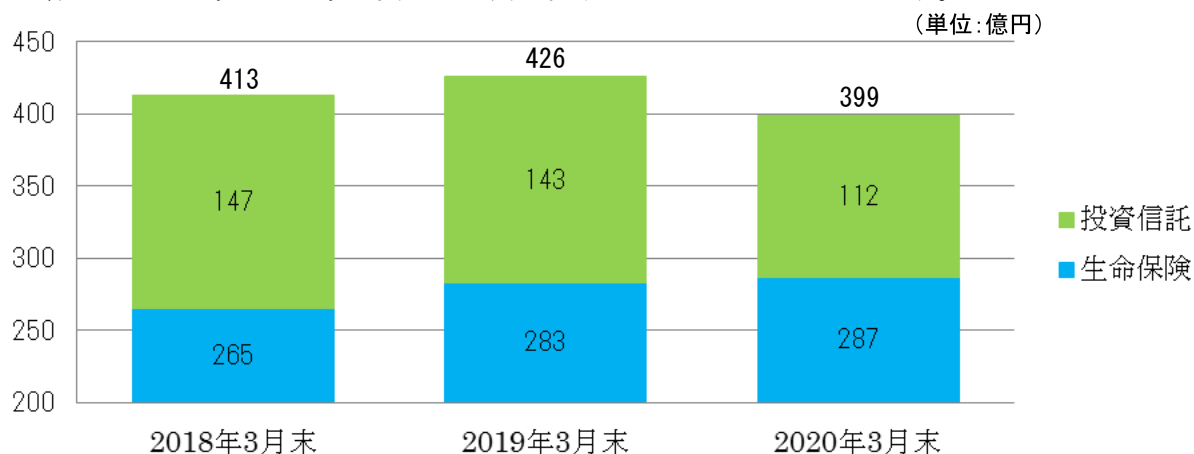
以上

1. お客さま本位の取組み実践

当行は、「これまでも、そしてこれからも、地域になくってはならない福岡中央銀行となるために」の基本方針のもと、お客さまの資産形成、資産運用に係る業務において、「お客さま本位の業務運営」を実践しております。

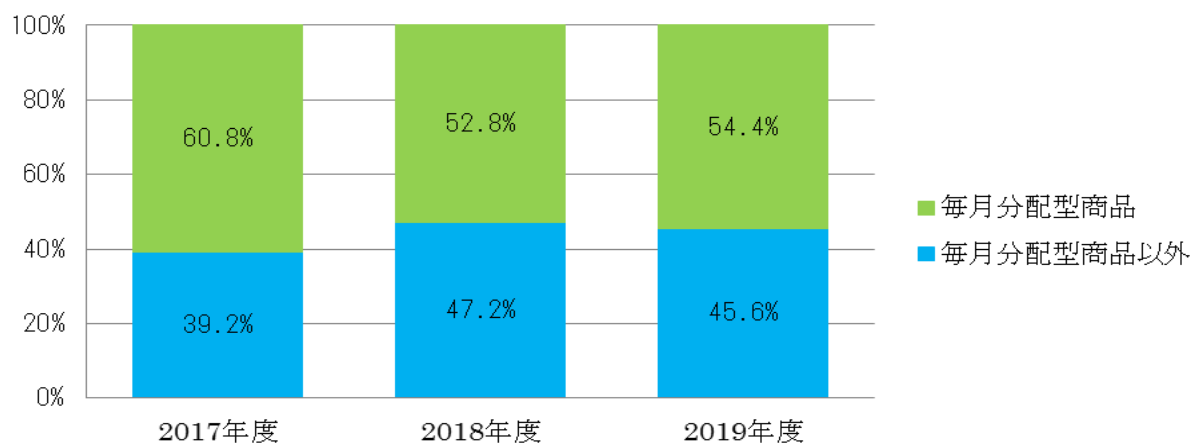
■ 預り資産残高（投資信託+生命保険）の推移

お客さまからお預りした預り資産の残高は以下のとおりとなっております。



■ 投信販売における毎月分配型商品と毎月分配型商品以外の販売額比率

お客さまのニーズに沿った提案に努めておりますが、長期的な資産ニーズに適した複利効果が期待できる「毎月分配型商品以外」の販売額比率は減少しております。



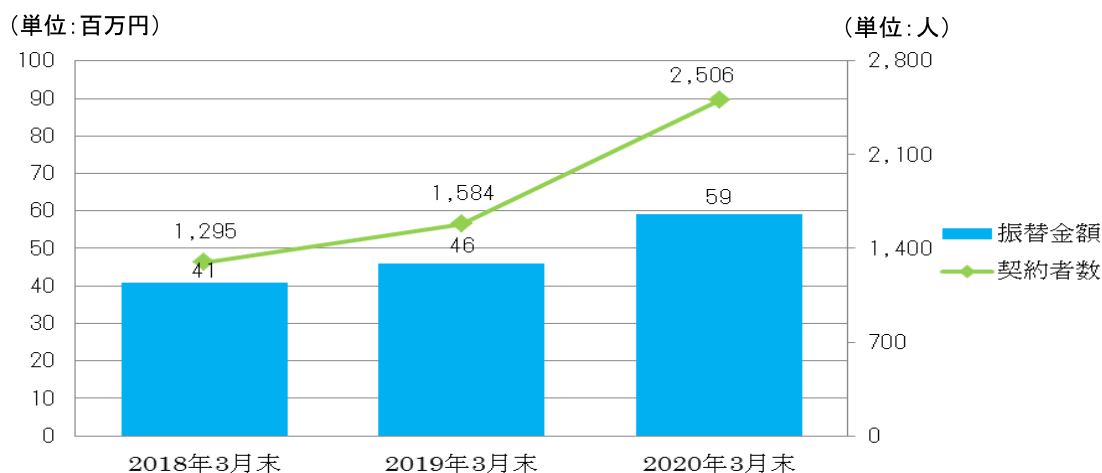
■ 投資信託アフターフォローの実施状況

投資信託を保有していただいているお客さまに対し、半年に1回定期的にあfterフォローを実施し、保有商品の運用状況や市況等の継続的な情報提供を行っております。

	2017年度	2018年度	2019年度
実施回数	2回	2回	2回
実施率	98.4%	96.7%	96.9%

■ 積立投信ご契約者数・月間積立金額の推移

お客さまに長期的な資産形成の実現のため、少額から始められる積立投資信託による時間分散投資のご提案に努めております。ご契約者数・月間積立金額ともに年々順調に増加しております。



2. お客さまにふさわしいサービスの提供

お客さまのニーズにあった商品やサービスを提供するために、商品ラインナップの充実に努めております。

■ 投資信託

2020年3月末現在で、投資信託47本を取り扱っております。

<商品ラインナップ>

種類		2018年3月末		2019年3月末		2020年3月末	
		商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
債 券	国内債券	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	海外債券	14	32.5%	14	32.5%	14	29.8%
株 式	国内株式	4	9.3%	4	9.3%	4	8.5%
	海外株式	9	20.9%	9	20.9%	11	23.3%
R E I T	国内REIT	2	4.7%	2	4.7%	2	4.3%
	海外REIT	2	4.7%	2	4.7%	2	4.3%
バ ラ ンス 型		12	27.9%	12	27.9%	14	29.8%
合 計		43	100.0%	43	100.0%	47	100.0%

<投資信託の商品ラインナップにおける毎月分配型商品以外の比率>

種類	2018年3月末		2019年3月末		2020年3月末	
	商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
毎月分配型商品以外	25	58.1%	25	58.1%	28	59.6%
毎月分配型商品	18	41.9%	18	41.9%	19	40.4%
合 計	43	100.0%	43	100.0%	47	100.0%

<投資信託 販売件数上位5商品(2019年度)>

順位	商品名	投信会社名	投資対象
1	ダイワ J-REIT オープン (毎月分配型)	大和証券投資信託委託	国内 REIT
2	野村インド債券ファンド (毎月分配型)	野村アセットマネジメント	外国債券
3	野村インド債券ファンド (年2回決算型)	野村アセットマネジメント	外国債券
4	株式インデックス 225	野村アセットマネジメント	国内株式
5	ダイワ J-REIT オープン (年1回決算型)	大和証券投資信託委託	国内 REIT

<積立投資信託 販売件数上位5商品(2019年度)>

順位	商品名	投信会社名	投資対象
1	野村インド債券ファンド (年2回決算型)	野村アセットマネジメント	外国債券
2	株式インデックス 225	野村アセットマネジメント	国内株式
3	ダイワ J-REIT オープン (年1回決算型)	大和アセットマネジメント	国内 REIT
4	東京海上・円資産バランスファンド (年1回決算型)	東京海上アセットマネジメント	バランス
5	グローバル AI ファンド	三井住友 DS アセットマネジメント	外国株式

■ 保険商品

2020年3月末現在で、生命保険80本を取り扱っております。

<生命保険商品ラインナップ>

種類		2018年3月末		2019年3月末		2020年3月末	
		商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
変額個人年金 (一時払)	円建	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	外貨建	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
定額個人年金 (一時払)	円建	1	1.3%	1	1.2%	2	2.5%
	外貨建	1	1.3%	2	2.5%	2	2.5%
終身保険 (一時払)	円建	6	7.7%	6	7.5%	6	7.5%
	外貨建	8	10.3%	7	8.8%	6	7.5%
養老保険 (一時払)	円建	-	-	0	0.0%	0	0.0%
	外貨建	-	-	1	1.2%	1	1.2%
定額個人年金保険 (平準払)	円建	3	3.8%	3	3.8%	3	3.8%
	外貨建	1	1.3%	1	1.2%	1	1.2%
終身保険(平準払)	円建	15	19.2%	15	18.8%	15	18.8%
養老保険(平準払)		3	3.8%	3	3.8%	3	3.8%
定期保険(平準払)		16	20.5%	18	22.5%	18	22.5%
収入保障保険(平準払)		5	6.4%	4	5.0%	4	5.0%
医療・がん保険(平準払)		19	24.4%	19	23.7%	19	23.7%
学資保険(平準払)		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計			78	100.0%	80	100.0%	80

<生命保険商品 販売件数上位 5 商品(2019 年度)>

順位	商品名	保険会社名	種類
1	エブリバディプラス	明治安田生命	一時払・外貨・終身
2	ステイゴールド	大樹生命 (旧 三井生命)	平準払・年金
3	新医療保険 A プレミア	三井住友海上あいおい生命	平準払・医療
4	生涯プレミアムワールド 5	T&Dフィナンシャル生命	一時払・外貨・終身
5	ガン保険スマート	三井住友海上あいおい生命	平準払・がん

■ お客様セミナー等

お客様向けセミナー等を定期的に行き開催し、金融商品情報やマーケット情報など、お客様の資産形成に役立つ情報の提供に努めております。また、2018年度より将来への資産形成の重要性をテーマにつみたて NISA、個人型確定拠出年金 (iDeCo) 等の商品を紹介する職域セミナーを開始しております。

<お客様向けセミナー・運用報告会>

2017 年度	2018 年度	2019 年度
6 回	9 回	7 回

<職域セミナー>

2018 年度	2019 年度
27 回	13 回

3. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

専門的知識を身に付け、お客様にとって最良の金融サービスの提供を実現するために従業員に対し、FP 等の資格取得を奨励しております。また、FP 等資格取得を昇進条件とし、人事制度にも反映しております。

<FP 1 級・FP 2 級の資格保有者数>

2018 年 3 月末	2019 年 3 月末	2020 年 3 月
176 名	175 名	189 名

4. 当行における比較可能な共通 K P I

運用損益別顧客比率

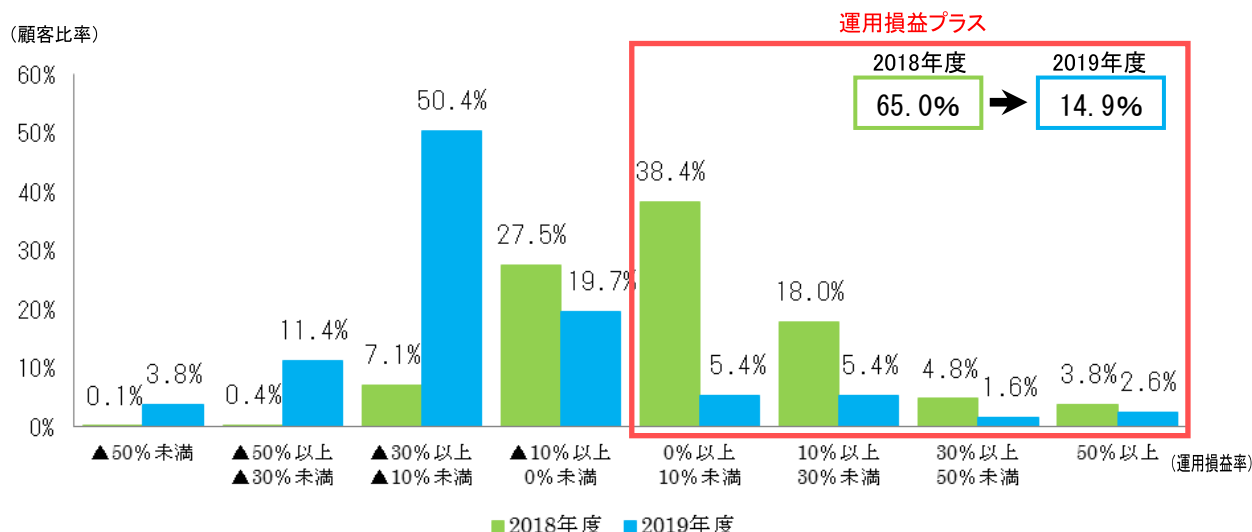
※投資信託を保有しているお客様について、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益を算出し、運用損益別にお客様の比率を示した指標です。

【参考】 実現損益を含む運用損益別顧客比率

※売却や償還により基準日時点で投資信託を保有していないお客様も含めた運用損益別のお客様の比率を示した指標です。

年度末にかけ株式市場が急激に下落し、パフォーマンスが低下しました。これに伴い、前年度に比べ運用損益がプラスのお客さまの割合が低下しました。安定的なリターンを享受いただけるよう、お客さまの長期的な資産形成実現のためアフターフォローを徹底し、資産分散・時間分散のご提案に努めてまいります。

■ 運用損益別顧客比率

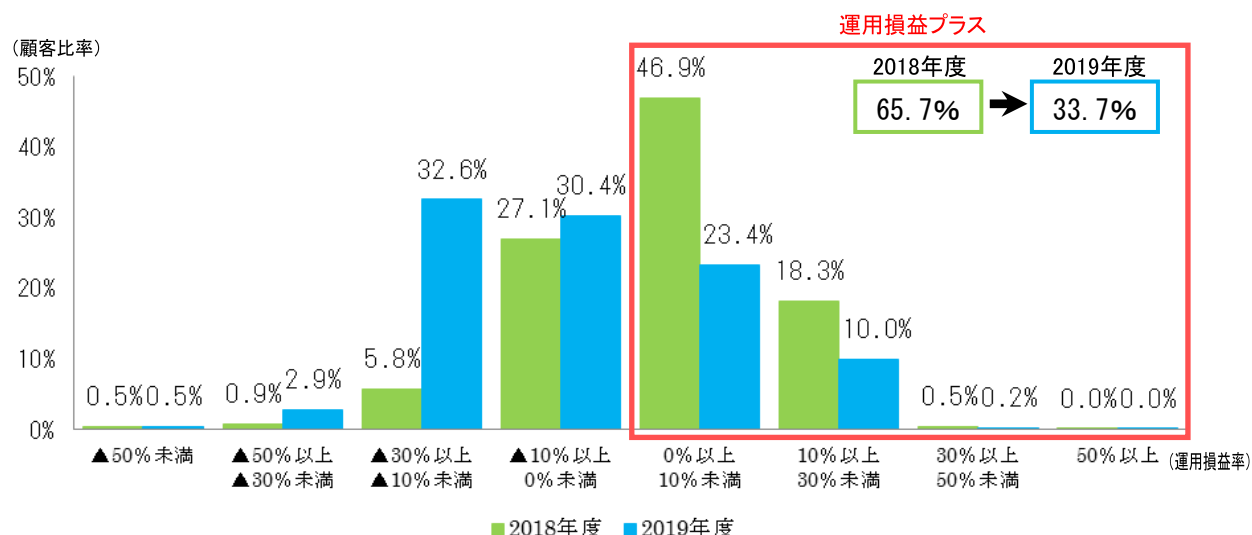


(注1) 基準日は2018年度は2019年3月末、2019年度は2020年3月末。

(注2) 運用損益は、基準日時点の時価評価金額+累計受取分配金(税引き後)+累積売付金額-累積買付金額(含む税込販売手数料)にて算出。確定済み損益を含まない。

(注3) 運用損益率は、上記運用損益を基準日時点の累積買付金額で除して算出。

■ 【参考】 実現損益を含む運用損益別顧客比率



(注1) 基準日は2018年度は2019年3月末、2019年度は2020年3月末。

(注2) 運用損益は、基準日時点の時価評価金額+累計受取分配金(税引き後)+累積売付金額-累積買付金額(含む税込販売手数料)にて算出。確定済み損益を含む。

(注3) 運用損益率は、上記運用損益を基準日時点の累積買付金額で除して算出。

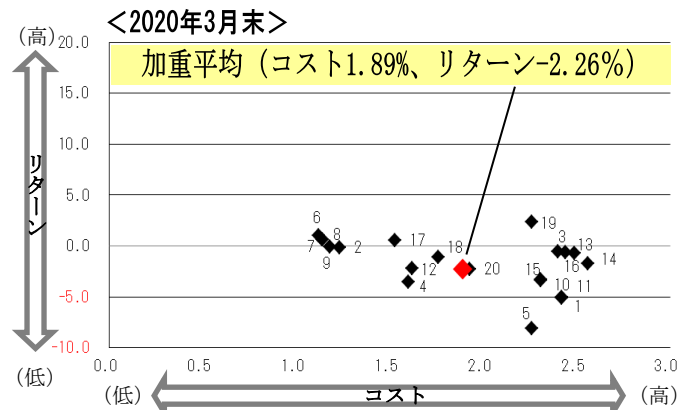
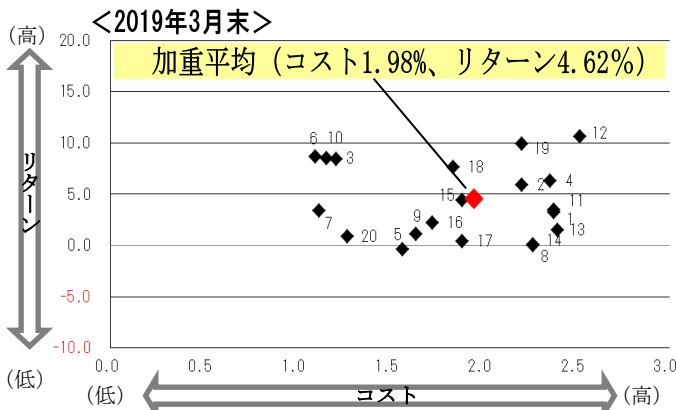
■ 投資信託預り残高上位20銘柄※の「リターン」「リスク」「コスト」

<投資信託の預り残高上位20銘柄※（2020年3月末時点）>

順位	ファンド名	リターン	リスク	コスト
1	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	-5.0	18.7	2.4
2	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	-0.2	13.4	1.2
3	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	-0.6	11.2	2.4
4	オーストラリア債券ファンド(毎月分配型)	-3.5	8.9	1.6
5	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	-8.1	18.4	2.3
6	株式インデックス225	1.0	17.1	1.1
7	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	0.6	3.4	1.1
8	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	0.6	3.4	1.1
9	ダイワJ-REITオープン(年1年決算型)	-0.1	13.4	1.2
10	アジア・オセアニア債券オープン(毎月決算型)	-3.4	8.5	2.3
11	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)	-5.1	18.8	2.4
12	トレンド・アロケーション・オープン	-2.2	7.9	1.6
13	アジア好利回りリート・ファンド	-0.7	17.1	2.5
14	ニッセイ・ワールドスポーツ・ファンド-メダリスト-	-1.8	15.8	2.6
15	アジア・オセアニア債券オープン(1年決算型)	-3.3	8.5	2.3
16	野村新興国債券投信Aコース(毎月分配型)	-0.7	8.2	2.4
17	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	0.5	9.2	1.5
18	ダイワマルチアセット・ファンド・シリーズ 安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	-1.1	5.3	1.8
19	米国連続増配成長株オープン	2.4	15.9	2.3
20	ダイワマルチアセット・ファンド・シリーズ 成長重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	-2.2	12.3	1.9

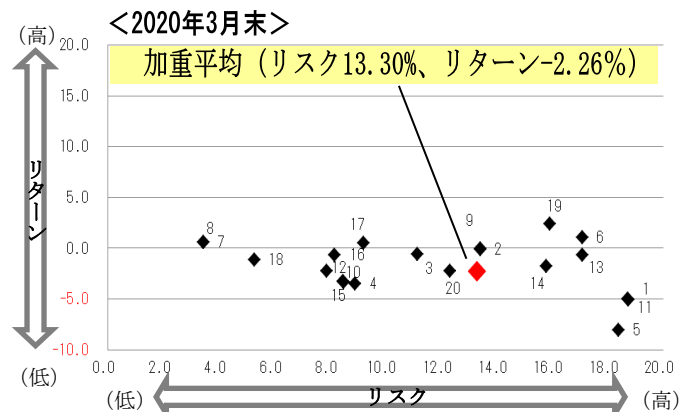
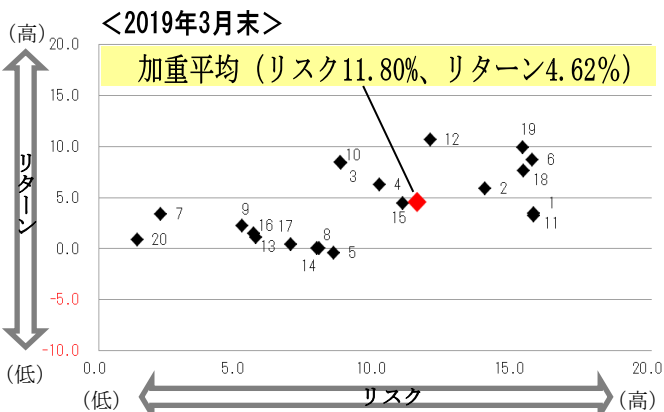
■ 預り残高上位20銘柄※の「コスト・リターン」及び「リスク・リターン」

・投資信託預り残高上位20銘柄※のコスト・リターン



(注)コストは、販売手数料率(税抜)と信託報酬率(税抜)の合計値。リターンは、過去5年間のトータルリターン(年率換算)。
※共通KPIの基準(設定後5年以上)を満たした上位20銘柄を抽出。

・投資信託預り残高上位20銘柄※のリスク・リターン



(注)リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算。一部日次リターンを使用)。
※共通KPIの基準(設定後5年以上)を満たした上位20銘柄を抽出。